

	目次	ページ
山梨県文学館協議会資料	山梨県文学館協議会名簿	1
	山梨県附属機関の設置に関する条例 他	2
	山梨県立文学館組織図	3
	SPSやまなし組織体制図	4
	山梨県立文学館活動報告(概要)	5
	施設利用状況	6
	観覧者数の推移	7
	企画展等一覧	8
	教育普及事業について	11
	資料情報課事業一覧	17
指定管理者活動報告	20	

平成24年2月29日(水)

山梨県立文学館

山梨県文学館協議会委員名簿

任期:平成23年9月29日～平成25年9月28日

区分	氏名	役職	出身分野(勤務先等)	備考
委嘱	しみず まなぶ 清水 學	県市町村教育委員会連合会代表	社会教育関係(甲斐市教育委員長)	
"	かみな をさみ 上名 をさみ	県社会教育委員代表	社会教育関係(山梨県社会教育委員)	
"	のうの はつみ 濃野 初美	山梨文芸協会事務局企画委員	学識経験者(山梨文芸協会事務局長)	
"	むこうやまふみと 向山 文人	報道関係	学識経験者(山梨日日新聞社論説委員長)	
"	うえまつ ゆうじ 植松 裕二	報道関係	学識経験者(テレビ山梨放送本部・報道制作局長)	
"	やまかけ たいすけ 山影 泰輔	報道関係	学識経験者(NHK甲府放送局副局長)	
"	いけだ なむね 池田 尚隆	山梨大学教授	学識経験者	
"	わたなべ きゆうじ 渡辺 久壽	山梨英和大学教授	学識経験者	
"	かずの つよし 数野 強	元山梨県教育長	学識経験者(山梨ことぶき勸学院学院長)	
"	おとぐる ゆきえ 乙黒 幸江	前中央市立玉穂生涯学習館館長	家庭教育関係	
"	うえの みほこ 上野 美穂子	主婦	家庭教育関係(公募)	
"	しみず あやこ 清水 章子	主婦	家庭教育関係(公募)	
任命	さとう きみこ 佐藤 喜美子	県公立小中学校長会代表	学校教育関係(笛吹市立春日居中学校長)	
"	つじ やすし 辻 泰	県高等学校長協会代表	学校教育関係(富士北稜高校校長)	

○ 山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）

（趣旨）

第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

（附属機関の設置及び担当事務）

第2条

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

（組織）

第4条 附属機関は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第1、別表第2、別表第3及び別表第4の委員の要件欄に掲げる者のうちから、知事（教育委員会の附属機関にあっては、教育委員会。以下同じ。）が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第1、別表第2、別表第3及び別表第4の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

（会長等）

第5条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長（以下「会長」と総称する。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長」と総称する。）を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあっては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（委任）

第8条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1（第2条、第4条関係）

2 教育委員会の附属機関

附属機関	担当事務	定数	委員の要件	任期
山梨県立美術館協議会	博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号）第二十条第二項の規定による山梨県立美術館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務	15人以内	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者	2年
山梨県文学館協議会	博物館法第二十条第二項の規定による山梨県立文学館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務			

○ 山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋）

（趣旨）

第1条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

（補欠の委員の任期）

第2条 委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。（会長及び副会長）

第4条 条例第5条第1項の規定により、附属機関に会長を置く。

（庶務）

第12条 附属機関の庶務は、別に定めるところにより、処理する。

（委任）

第13条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

○ 博物館法（抜粋）

（博物館協議会）

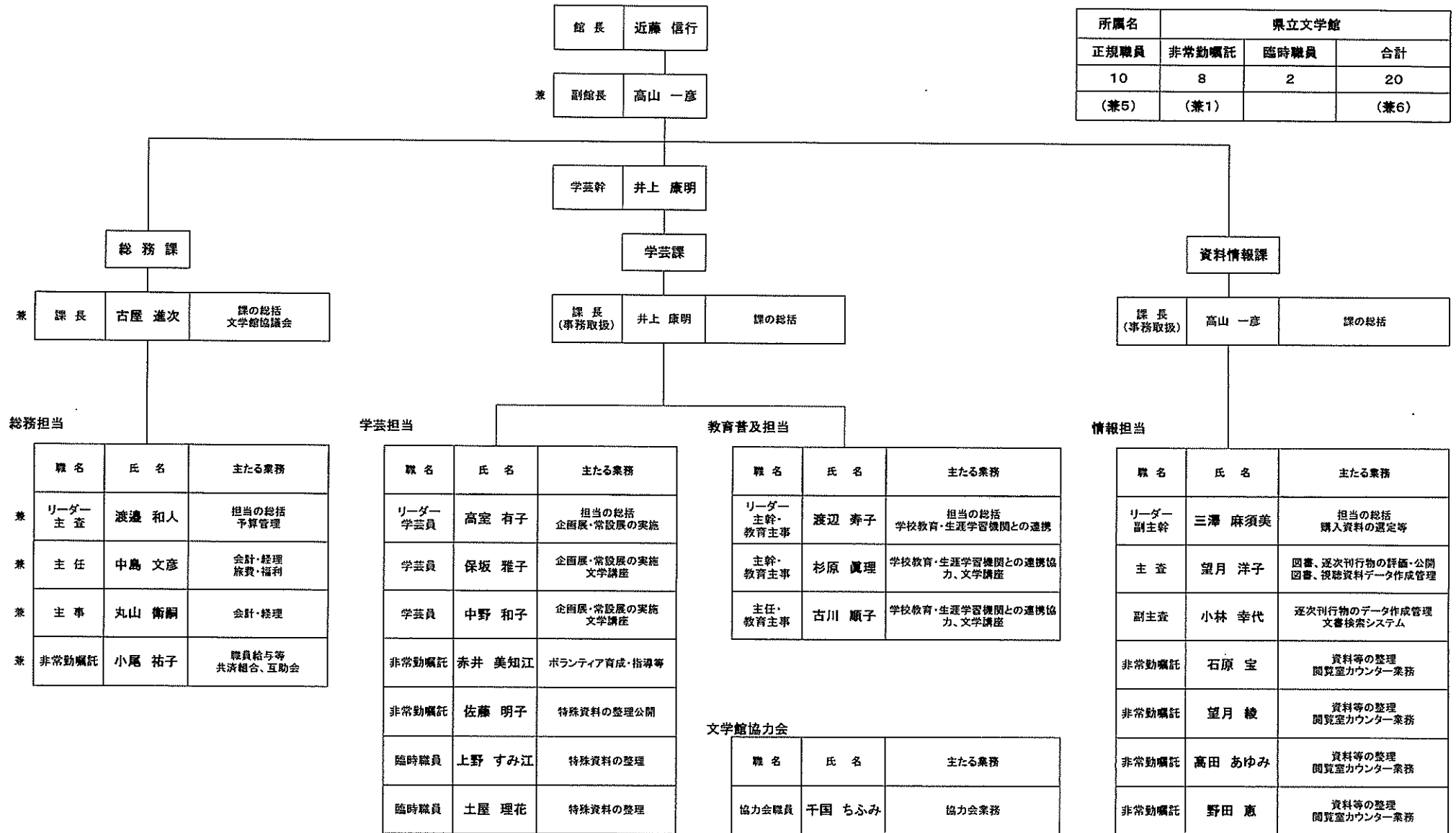
第20条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

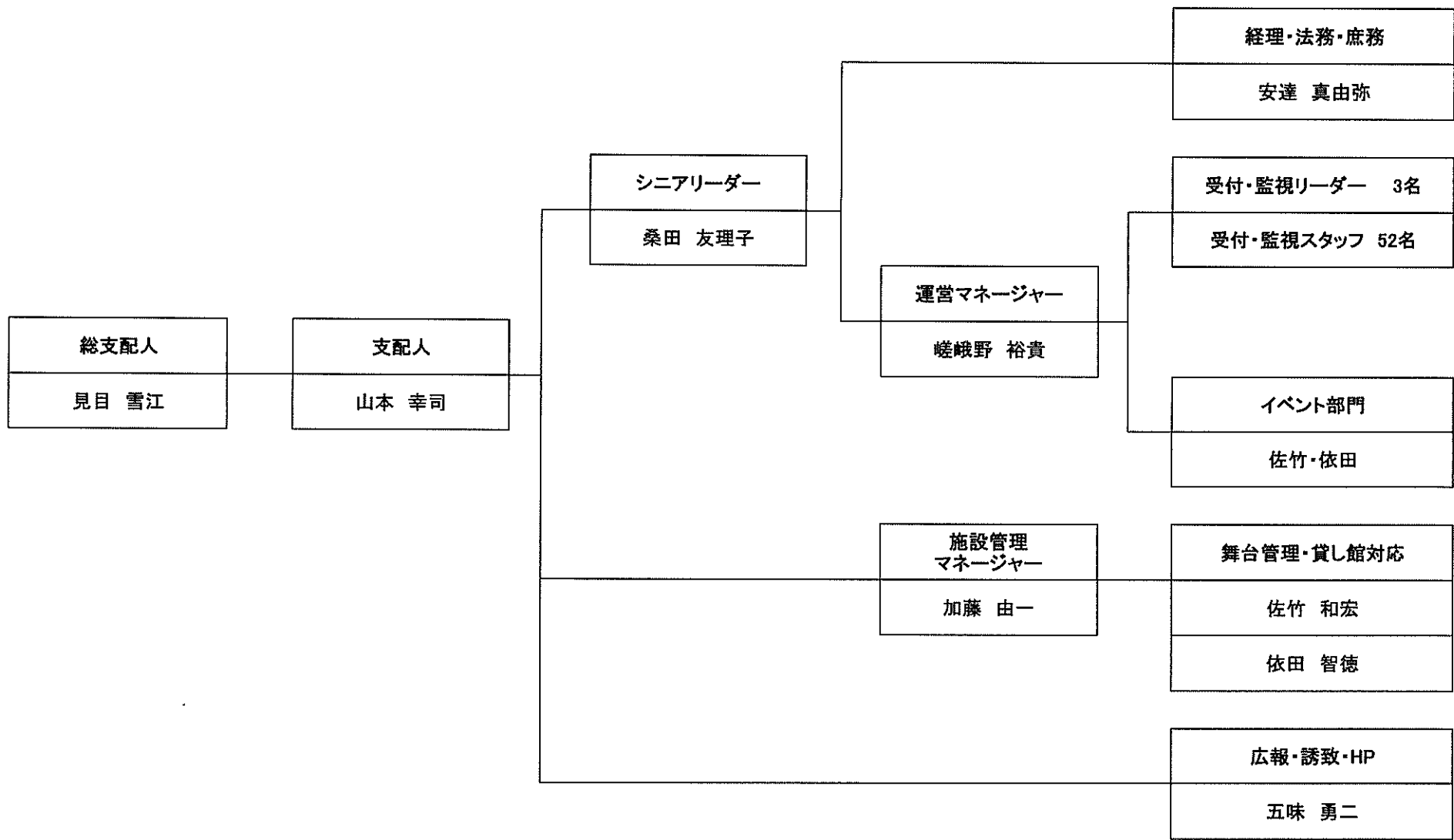
第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

第22条 博物館協議会の設置、その委員の定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

文学館組織図



指定管理者組織図(SPSやまなし)



スタッフ
 9 + 受付・監視
 55 = 64 名

山梨県立文学館活動報告(概要)

本館に求められるもの

県民の価値感の多様化・余暇活動の関心の高まりとともに、心の豊かさや生きがいを求めて、文化活動に対するニーズも一段と幅広いものとなってきている。このようななか、文学に対する知識・教養の向上をはかり、県民文化の発展向上に寄与することを目的として設置されている山梨県立文学館には、

【展示/見る】文学史に残る作家と作品を紹介する企画展と山梨県出身ゆかりの文学者を展示する常設展示の一層の充実をはかる。

【教育普及/学ぶ】生涯学習、教育課程における学習など、多様な学習機会の提供、本県文学、創作活動の充実、発展、その場の提供。

【資料情報/収集・保存・公開】山梨県にゆかりのある作家の作品(資料)を収集保存し、活用する。

【付加価値・魅力/たのしみ】本来の文学館機能に加え、付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供。

◎平成23年度は、文学館開館20周年リニューアルオープンののち1年を経、さらに魅力ある展示を実施、解説に力を入れるなど情報発信を行ってきた。

平成23年度の活動

【展示/見る】(魅力ある展示へ)

(常設展) 年四回展示替え ①作家の愛用品 4/1~6/26 ②作家と家族 6/28~10/2
③八木義徳生誕百年 10/4~12/25 ④檀一雄生誕百年 12/27~3/25

第1室 山梨の文学風土(甲斐のうた) 樋口一葉(朗読コーナー)

第2室 山梨出身ゆかりの文学者たち
井伏鱒二・太宰治・檀一雄・山本周五郎・深沢七郎・山崎方代 21作家のコーナー

第3室 芥川龍之介 生涯(誕生・少年時代・作家として・晩年) 書画・俳句・山梨との関わり
朗読コーナー

第4室 飯田蛇笏・飯田龍太記念室 人生をたどって 季節毎の展示替え

第5室 前期(8月まで) 小説・評論・随筆・翻訳・ジャーナリズム・戯曲・脚本・童話・童謡
後記(3月まで) 詩・短歌・俳句・川柳・漢詩

新収蔵品展 年度収蔵品資料を中心に展示紹介(年度末) 2/2~3/21

(企画展) 春「文芸映画のたのしみ」4/29~6/19・秋「深沢七郎の文学」9/10~11/6

(夏休み展示) 特設展 手紙を書こう 7/23~8/28

(特設展) 樋口一葉 山梨への手紙 11/19~12/25

【教育普及/学ぶ・創る】(文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供)

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

◎常設展示室内の飯田蛇笏・飯田龍太記念室に関して創作教室実施
(活動内容)

春秋の企画展関連講演会・関連朗読公演会・座談会・講座・教師のための学習会 文学散歩2回
子ども映画会・ワークショップ 年間文学講座 名作映画鑑賞会 大人・子ども俳句教室
読書会(協力会) お話の森朗読会 チャレンジ文学館 夏休みチャレンジ文学館 ジュニアインターン
シップ 文学解説、各種講師派遣事業 館長トーク(予定)

(第20回やまなし文学賞) 小説・研究評論2部門で実施予定 11月末締め切り H24年3月初発表

【資料情報/収集・保存・公開】(資料の保存と公開)

・資料を手に取り文学者を身近に感じることが出来る機会の提供

○閲覧室資料紹介・映画に魅せられた作家たち・文豪からのおくりもの一子どもたちへー・深沢七郎の世界・芥川賞、直木賞と山梨の作家たち

○文学者の誕生日にちなんだ資料紹介・飯田蛇笏・山本周五郎・飯田龍太・辻邦生・山崎方代・中村星湖・芥川龍之介

○県立美術館特別展関連資料紹介 美術館から文学館への誘客を図り、展示内容への理解関心をさらに深める機会とする 川端康成の世界 浅川伯教・巧見弟

○書庫見学 6月18日:35名 11月20日:72名

【付加価値魅力/楽しむ】(魅力ある文学館)

協力会員による常設展の解説ボランティアを育成・実施(6名・新規応募2名研修中)
芸術の森公園アートツアー(SPSやまなし自主事業)ミュージアム甲斐in(会員)募集事業
県観光機構との連携等による積極的な広報

平成24年度の活動予定

【展示/見る】(魅力ある展示へ)

常に新しい資料の常設展と魅力あるテーマの企画展を展開
(常設展) 年四回春夏秋冬展示替え <注目資料を前面に広報していく>

①井伏鱒二「本日休診」②芥川龍之介回覧雑誌③太宰治「陰火」④芥川龍之介「河童」⑤斎藤茂吉「貼り交ぜ屏風」⑥鍋木清方「美登利像」⑦森嶋外「灰燼」⑧室生犀星「かげろふ日記遺文」

第1室 山梨の文学風土(甲斐のうた) 樋口一葉(朗読コーナー)

第2室 山梨出身ゆかりの文学者たち
井伏鱒二・太宰治・檀一雄・山本周五郎・深沢七郎・山崎方代 21作家のコーナー

第3室 芥川龍之介 生涯(誕生・少年時代・作家として・晩年) 書画・俳句・山梨との関わり
朗読コーナー

第4室 飯田蛇笏・飯田龍太記念室 人生をたどって 季節毎の展示替え

第5室 前期(9月まで) 小説・評論・随筆・翻訳・ジャーナリズム・戯曲・脚本・童話・童謡
後記(3月まで) 詩・短歌・俳句・川柳・漢詩

(国民文化祭開催記念 収蔵品名展)(年度末) 1月~3月

(企画展) 春「石川啄木 愛と悲しみの歌」4月~6月

(夏休み展示) 夏休み特設展「フランダーズの犬」7月~8月

(秋の特設展) 「歿後50年飯田蛇笏の魅力」9月~11月

【教育普及/学ぶ・創る】(文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供)

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

◎入門のための文学創作教室実施(小説・短歌教室)

(活動内容)

春の企画展、秋の特設展関連講演会・朗読会・座談会・講座・教師のための学習会 文学散歩2回
子ども映画会・ワークショップ 年間文学講座 名作映画鑑賞会 読書会(協力会)お話の森朗読会
お話の森朗読会 チャレンジ文学館 夏休みチャレンジ文学館 ジュニアインターンシップ
文学解説、各種講師派遣事業 館長トーク

(第21回やまなし文学賞) 小説・研究評論2部門で実施予定 11月末締め切り H25年2月末発表

【資料情報/収集・保存・公開】(資料の保存と公開)

・資料を手に取り文学者を身近に感じることが出来る機会の提供

○閲覧室資料紹介・石川啄木の世界・みんなで読もう世界の名作・飯田蛇笏一歿後五十年一・やまなし文学散歩

○文学者の誕生日にちなんだ資料紹介・木々高太郎・太宰治・飯田龍太・辻邦生・山崎方代・檀一雄・芥川龍之介

○書庫見学 6月・11月

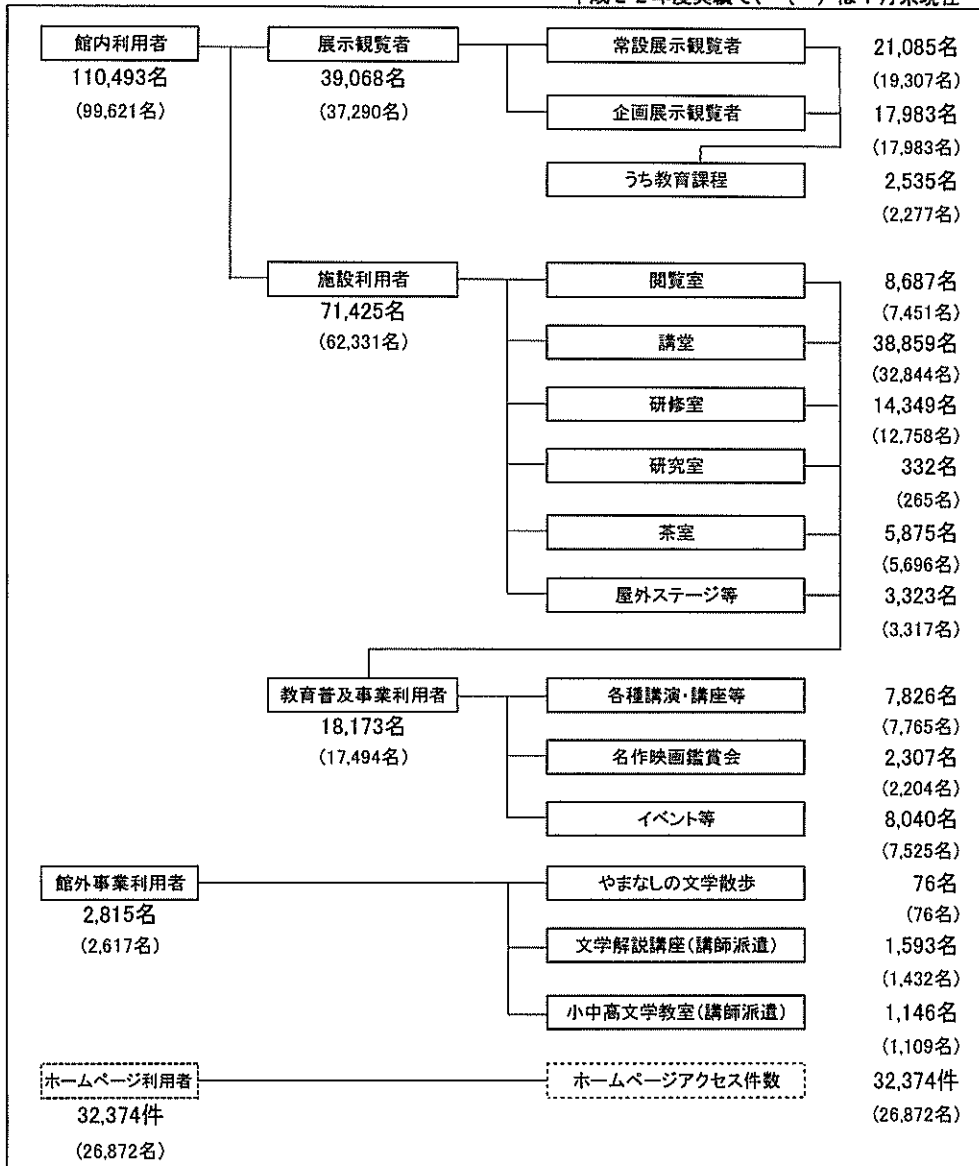
【付加価値魅力/楽しむ】(魅力ある文学館)

協力会員による企画展・常設展の解説ボランティアを実施・育成
芸術の森公園アートツアー(SPSやまなし自主事業)ミュージアム甲斐in(会員)募集事業
J R・県観光機構との連携等による積極的な広報

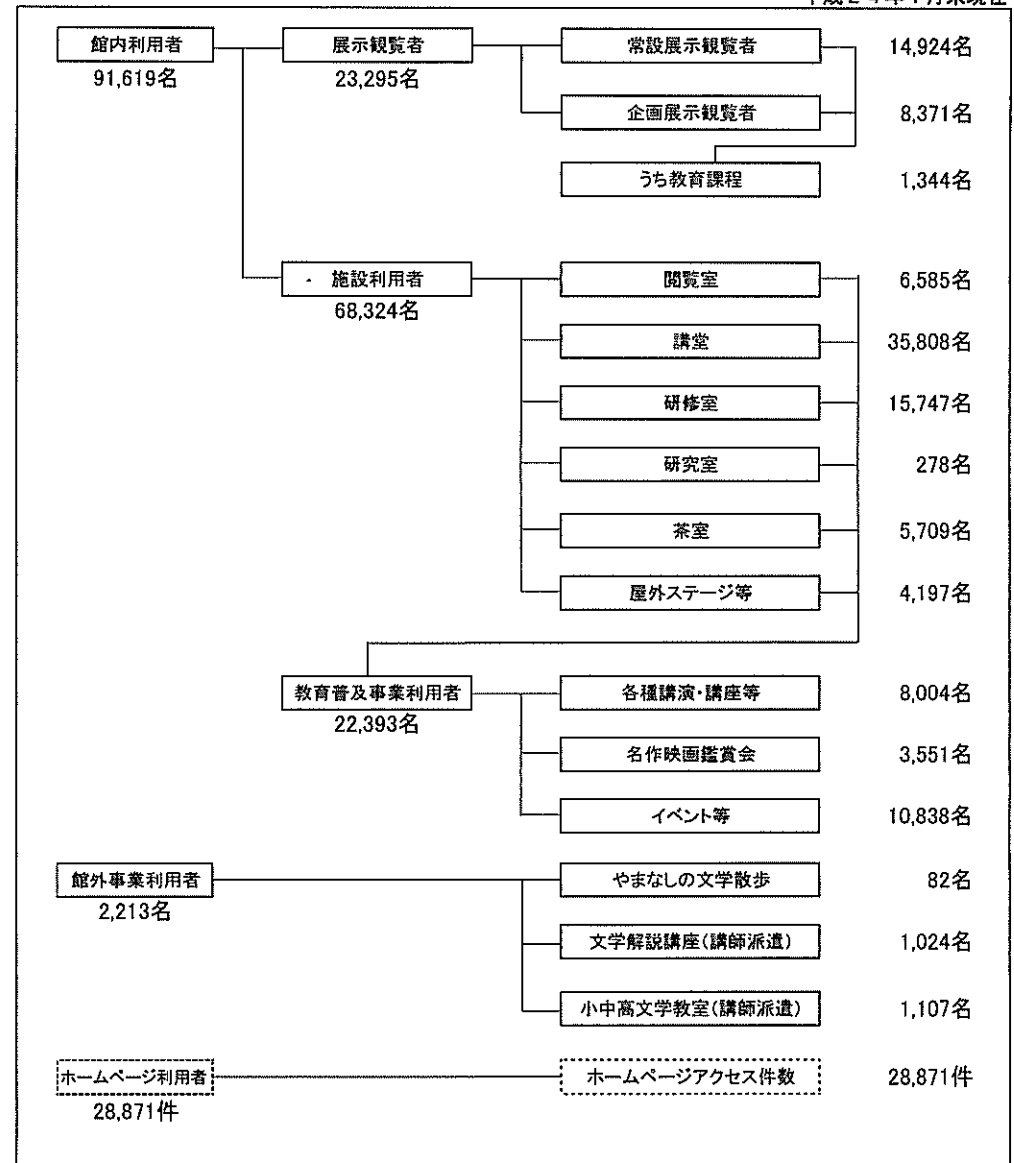
文学館「利用者」の状況

○文学館の利用者とは、文学館の施設、提供するサービスを利用した者および文学館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

平成22年度実績で、()は1月末現在



平成24年1月末現在



文学館の観覧者数の推移について

常設展及び企画展の観覧者の状況は、次のとおりである。

年度	開館日数	常設展観覧者数	企画展観覧者数	合計
H1	34	10,008	42,544	52,552
2	298	79,124	20,233	99,357
3	296	59,616	22,059	81,675
4	292	46,945	21,047	67,992
5	291	41,812	8,271	50,083
6	290	44,279	29,874	74,153
7	294	35,409	14,885	50,294
8	294	31,536	16,804	48,340
9	291	29,730	8,205	37,935
10	293	32,209	15,433	47,642
11	296	20,652	9,832	30,484
12	299	19,258	7,786	27,044
13	225	17,901	10,259	28,160
14	301	19,487	8,805	28,292
15	302	18,641	8,535	27,176
16	302	18,117	12,790	30,907
17	303	15,008	7,232	22,240
18	311	16,084	7,116	23,200
19	311	19,676	10,088	29,764
20	307	15,541	9,416	24,957
21	295	19,374	13,993	33,367
22	307	21,085	17,983	39,068
23	257	14,924	8,371	23,295
計	5,925	646,416	331,561	977,977

平成23年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	864	33
5	26	1,960	75
6	26	1,194	46
7	26	1,389	53
8	27	1,986	74
9	26	1,171	45
10	29	1,658	57
11	26	3,248	125
12	24	848	35
1	21	606	29
2			
3			
計	257	14,924	58

企画展観覧者数

文芸映画のたのしみ	4,042
深沢七郎展	4,329
小計	8,371

絆券利用観覧者	42
---------	----

1月末日まで(内数)

平成23年度 企画展・特設展など

	展覧会名	会期	日数	観覧者数	内 容	備 考
1	企画展 文芸映画のたのしみ 谷崎潤一郎・泉鏡花・川端康成・ 三島由紀夫…	平成23年4月29日(金) ～6月19日(日)	45日間	4,042人	東京都在住の畑三郎氏の、映画のポスター、チラシ、スチール写真などのコレクションを軸に、原稿などの文学資料を併せ、文学と映画の深い関わり、映画に取り込まれた文学の魅力をご紹介します。みずから映画に深い関心を持ち関わりを持った作家として谷崎潤一郎、泉鏡花、川端康成、三島由紀夫を紹介、さらに、夏目漱石、山本周五郎などの小説を原作とした数々の映画を紹介しました。山梨県出身の映画監督増村保造と脚本家菊島隆三の功績にもふれました。	自主企画
2	夏の特設展 手紙を書こう—作家の手紙をお手本に	平成23年7月23日(土) ～8月28日(日)	33日間	2,604人	文学者たちが残した書簡は、その目的や相手によって様々な工夫の跡がみられます。本展では、館蔵の資料から、樋口一葉・夏目漱石・太宰治・室生犀星・野尻抱影の書簡を取り上げ、その背景や書き方の工夫を紹介しました。一葉の書いた手紙の書き方手引き書や、手紙を書く楽しさ・もらう喜びをテーマにした絵本を紹介するコーナーも設けました。夏休み中の子供向け展示と位置づけ、絵手紙教室などのワークショップも開催しました。	自主企画 ・常設展の一環として開催
3	企画展 深沢七郎の文学「楢山節考」ギターの調べとともに	平成23年9月10日(土) ～11月6日(日)	53日間	4,329人	深沢七郎は、1914(大正3)年、山梨県東八代郡石和町(現 笛吹市)に生まれ、県立日川中学卒業後、ギタリストとして東京の日劇ミュージックホールなどに出演する一方、小説の創作を始め、1956(昭和31)年、姥捨山伝説を題材とし、山梨県境川町大黒坂の景色を想定した小説「楢山節考」で、第1回「中央論」新人賞を受賞。選考委員の三島由紀夫や正宗白鳥の絶賛を受けました。特異な作風とともに、実生活の変転と意表をつく行動がマスコミの注目を集め、1987(昭和62)年8月、73歳で亡くなりました。本展は、現在も多くの読者の関心を集める深沢七郎の初めての本格的な企画展として、その生涯と作品の世界を紹介しています。	自主企画
4	秋の特設展 樋口一葉 山梨への手紙	平成23年11月19日(土) ～12月25日(日)	32日間	2,073人	樋口一葉が両親の故郷である山梨県甲州市の祖母や従弟たちに送った手紙を中心に紹介します。11月23日の一葉忌に合わせ、県民の日を含めての公開です。	自主企画 ・常設展の一環として開催
5	平成23年度 新収蔵品展 「直筆のあじわい」	平成24年2月2日(木) ～3月21日(水)	43日間	開催中	平成23年度に新たに収蔵した資料を中心に公開します。富士山の日になみ、芥川龍之介の「富士山」原稿や、やまなし文学賞19回の歩みを振り返るコーナーも加えました。	自主企画 ・観覧料無料

平成24年度 企画展・特設展など(予定)

	展覧会名	会 期	内 容	備 考
1	企画展 石川啄木 愛と悲しみの歌	平成24年4月下旬～ 6月下旬	岩手県に生まれた歌人・詩人の石川啄木が、26年と2ヶ月の短い生涯を閉じて今年で百年を迎えます。文壇に認められない失意の生活の中で、貧苦と挫折を超えて、その心境を詠み込んだ三行書きの口語短歌は、現代も愛称される名作が多く、独自の鮮烈な詩情に溢れています。短くも激しい啄木の生涯と、作品の世界を顕彰すると共に、歿後百年を経た今なお読み継がれる魅力に迫ります。	自主企画
2	夏の特設展 フランダースの犬(仮称)	平成24年7月下旬～ 8月下旬	「フランダースの犬」はイギリスの作家ウィーダが書いた19世紀のベルギーを舞台にした児童文学です。くり返し翻訳され、日本の子どもたちに愛されてきた物語を、挿絵とともに紹介します。	自主企画 ・常設展の一環として開催
3	秋の特設展 歿後50年 飯田蛇笏の魅力(仮称)	平成24年9月下旬 ～11月下旬	東八代郡境川村(現笛吹市)に生まれ、大正から昭和にかけての近代俳句史に大きな足跡を残した飯田蛇笏が、亡くなって50年を迎えます。改めてその作品の魅力を振り返る展覧会です。	自主企画 ・常設展の一環として開催
5	富士の国やまなし国文祭共催事業 収蔵名品展	平成25年1月中旬 ～3月下旬	1月14日に開幕する、「富士の国やまなし国文祭」の共催事業として開催します。文学館がこれまで収蔵してきた資料の中の逸品を展示します。	自主企画 ・常設展の一環として開催

◆ 山崎方代宛書簡の資料整理について

甲府市から寄託された山崎方代資料のうち、方代宛書簡5, 811点について、緊急雇用対策の職員2名により平成23年5月～11月にかけて資料整理を進め、資料の内容確認、登録を終了し、公開、非公開について検討のうえ公開できることとなった。

◆ 企画展「石川啄木」の準備・進行について

- 9～10月
(半年前) 石川啄木記念館、函館市文学館、小樽文学館などの関係施設への資料調査を行う
編集委員の決定、編集委員会の日程調整を行う
関連事業（講演会、講座など）の講師を決定する
- 11～1月 編集委員会を開催し、企画展の方向性などのご意見を編集委員よりいただく
石川啄木の資料を多数保有する日本近代文学館と打ち合わせを行い、資料調査を行う
図録の構成案を作成し、寄稿の執筆依頼をする
出品資料を選定する
石川啄木記念館、仙台文学館などに資料の出品交渉を行う
- 2～3月 撮影資料の選定、資料撮影を行う
図録入稿
ポスター・チラシ・チケット・招待状作成
ディスプレイ（看板、表示など）の概要作成
展示室レイアウトの作成
借用資料運搬の手配
- 4月 図録、ディスプレイの校正作業
出品先からの資料の借用・運搬への同行
展示作業
- 4月末企画展開催

【平成23年度 教育事業について】平成24年1月末日現在

1. 企画展関連事業

- (1) 春の企画展 平成23年4月29日(金)～6月19日(日)
「文芸映画のたのしみ 谷崎潤一郎・泉鏡花・川端康成・三島由紀夫・・・」

企画展関連事業				
月日	事業名	演題	講師	参加者数
5/7 (土)	講演会	「小沢昭一的 映画のこころ」	講師 小沢昭一(俳優) 聞き手 遠藤三郎 (元映画監督)	510人
5/22 (日)	文学講座	「映画館が教室だった」 文学講座「映画に魅せられた作家たち」	畑三郎(映画史研究者) 中野和子(当館学芸員)	60人
6/2 (木)	教師のための学習会		中野和子(当館学芸員)	20人

*この他、企画展関連映画5本を上映(名作映画鑑賞会で再掲)

- (2) 秋の企画展 平成23年9月10日(土)～11月6日(日)
「深沢七郎の文学「稽山節考」ギターの調べとともに」

企画展関連事業

月日	事業名	演題	講師	参加者数
9/27 (火)	教師のための学習会		保坂雅子(当館学芸員)	20人
10/1 (土)	講演・対談	「深沢七郎の文学 そこに秘められたもの」 文学講座「山梨にのこる深沢七郎の足跡」	京谷秀夫(元中央公論社編集者) 近藤信行(当館館長) 保坂雅子(当館学芸員)	145人
10/16 (日)	講演	「奇跡の文学」	中沢新一(思想家・人類学者)	400人
10/22 10/30	深沢七郎ゆかりの地をめぐる文学散歩		NPO協働事業	82人

2. 特設展関連事業

夏の特設展 「手紙を書こうー作家の手紙をお手本に」

特設展関連事業

月日	事業名	講師	参加者数
7/24 (日)	「暑中見舞いの書き方教室」	杉野文香(青少年ベンフレンドクラブアドバイザー)	51人
8/3・4 (水・木)	「絵手紙教室」	美・文教育主事	148人
8/19 (金)	手紙に使える消しゴムはんこ作り	高橋裕子(青少年ベンフレンドクラブアドバイザー)	50人

3. 教育普及事業(企画展・特設展を除く)

(1) 年間文学講座

期間	事業名	演題	講師(職名)	参加者数
5/19 6/16 7/14 8/18	文学講座1(全4回) 研修室	テーマ「甲州と能・狂言」 木曜日 14:00～15:30	橋本朝生 (山梨大学 教育人間科学部教授)	826人
9/15 10/13 11/17 12/15	文学講座1(全4回) 研修室	テーマ「藤原道長と紫式部」 木曜日 14:00～15:30	池田尚隆 (山梨大学 教育人間科学部教授)	
5/14 6/19 7/2 8/6 9/3 10/8 11/26 12/17	文学講座2(全8回) 研修室	テーマ「「太宰治」の芸術と実生活 - (事実)と(真実)の間で-」 土曜日 14:00～15:30	小菅健一 (山梨英和大学教授)	976人
6/23 8/25 10/27	文学講座3(全3回) 研修室	山梨の文学 木曜日 14:00～15:10	文学館職員	169人

(2) 名作映画鑑賞会

月日	題名	原作者	参加者数
4/24 (日)	春の企画展関連映画①「砂の器」	原作 松本清張 監督 野村芳太郎	485人
5/15 (日)	春の企画展関連映画② 「洲崎パラダイス 赤信号」	原作 茨木好子 監督 川島雄三	320人
5/29 (日)	春の企画展関連映画③「細雪」	原作 谷崎潤一郎 原作 市川崑	507人
6/5 (日)	春の企画展関連映画④「古都」	原作 川端康成 監督 市川崑	500人
6/12 (日)	春の企画展関連映画⑤「彼岸花」	原作 里見弴 監督 小津安二郎	500人
7/16 (土)	美術館との連携事業1「ムーミンの映画」		206人
7/31 (日)	アニメ映画会「アンデルセン物語」		100人
8/21 (日)	アニメ映画会「おむすびころりん」 「おぼ捨て山の月」		67人
9/25 (日)	「名もなく貧しく美しく」	脚本 松山善三 監督 松山善三	305人
10/23 (日)	「狐と狸」	原作 熊王徳平 監督 千葉泰樹	260人

11/27 (日)	「月山」	原作 森 敦 監督 村野鐵太郎	300人
--------------	------	--------------------	------

(3) 朗読公演会

月 日	事業名	演 題	講 師	参加者数
5/28 (土)	お話の森朗読会①		溝口朗読サークル	153人
7/23 (土)	お話の森朗読会②		清水章子他	103人
11/6 (日)	朗読公演会「楢山節考」		劇団芸協	400人

(4) 文学創作教室

月 日	事業名	演 題	講 師	参加者数
6/18 (土)	エッセイ教室 「エッセイ書いて人生をまるめる」		木村治美 (エッセイスト 英文学者)	150人
2/4 (土)	俳句教室 初心者向け俳句教室		瀧澤和治 (「白露」編集同人)	30人

(5) 子どもワークショップ

月 日	事業名	演 題	講 師	参加者数
7/24 (日)	暑中見舞いの書き方		杉野文香 (青少年ベンフ レンドクラブア ドバイザー)	51人
8/3・4 (水・木)	美術館との連携事業2 絵手紙教室			148人
8/19 (金)	美術館との連携事業3 手紙に使える消しゴムスタンプづくり		高橋裕子 (青少年ベンフ レンドクラブアドバイ ザー)	50人
11/ 19 (土)	中高生～大人まで 太宰治作品朗読会		原きよ	110人
12/ 10 (土)	クリスマスお話し会		原きよ	107人
1/ 7 (土)	百人一首教室		清水章子 (竜王かるた会会長)	62人

(6) 学習ガイド 県出身又はゆかりの文学者、作品についての学習資料集を作成し、小・中・高等学校、各市町村立図書館等に配付したり、文学教室で活用する。平成23年度は、芥川龍之介の作品と生涯についての資料集を作成する。また、楽しみながら展示を理解できるように、ワークシートや展示クイズを作成し活用する。

(7) ジュニアインターンシップ(職場体験学習)・学芸員実習
7月27日～29日 高校生5名 特別支援学校生1名
8月3日 中学生2名
7月5日～10日 大学生7名

(8) 文学教室・解説
小学校 13校
中学校 36校
高等学校 28校
大学校 6校 (小中高大 1,745人)
一般 28団体 (一般 767人)

(9) 講師派遣事業
小学校 5校
中学校 1校
高等学校 6校 (小中高大 1,107人)
一般 18団 (一般 1,007人)

4. やまなし文学賞

本賞は、平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して制定された。山梨県の文学振興をはかり、日本の文化発展の一助として、小説と、研究・評論の2部門を設けている。

選考委員 小説部門 : 坂上 弘 津島佑子 佐伯一麦
評論部門 : 菅野昭正 高田 衛 十川信介

24年2月15日研究評論部門選考会 25日小説部門選考会
3月14日表彰式
6月小説部門受賞作単行本刊行

5. その他

共催事業 NHK 朗読シアター 9/17(土) 403人

【平成24年度事業について】

1. 企画展

(1) 春の企画展・関連事業

ア 企画展示

「石川啄木 愛と悲しみの歌」

会期 平成24年4月28日(土)～6月24日(日) 51日間

イ 企画展関連事業

月日	事業名	演題	講師
5/20(日)	講演会	「啄木の詩について」	講師 中村稔
6/3(日)	文学講座	「わが愛誦 啄木十八首」 「啄木の手紙 展示資料より」	近藤信行館長 中野和子(当館学芸員)
6/23(土)	講演会	「未定」	講師 佐佐木幸綱

2. 特設展

ア 展示

「戦後50年飯田蛇笏の魅力(仮称)」

会期 平成24年9月29日(土)～11月25日(日) 53日間

イ 関連事業

講演会、文学講座、朗読公演会、文学散歩等を実施

3. 教育普及事業(企画展・特設展関連事業を除く)

(1) 年間文学講座

期間	事業名	演題	講師(職名)	備考
5/24 6/21 7/19 8/23 9/13 10/18 11/15 12/20	文学講座1(全8回) 研修室	テーマ「源氏物語を読む」 木曜日 14:00～15:30	池田尚隆 (山梨大学 教育人間科学部教授)	
5/12 6/16 7/7 8/11 9/8 10/13 11/17 12/22	文学講座2(全8回) 研修室	テーマ「未定」 土曜日 14:00～15:30	小菅健一 (山梨英和大学教授)	
6/14 7/12 8/9 11/1	文学講座3(全3～4回) 研修室	山梨の文学 木曜日 14:00～15:10	文学館職員	

(2) 名作映画鑑賞会

月日	題名	原作者	備考
5/27 (日)	「夫婦善哉」	原作 織田作之助 監督 豊田四郎	
6/24 (日)	「泥の河」	原作 宮本 輝 監督 小栗康平	
7/22 (日)	アニメ映画会「宗谷物語—南極への挑戦」	アニメ製作 国際映画社 監督 久岡敬史	
8/19 (日)	児童劇映画「少年の日の思い出」	脚本 スロボタン・ストヤ ノビラチ	
9/16 (日)	「愛染かつら」	脚本 川口松太郎 監督 野村浩将	
10/21 (日)	「聖職の碑」	原作 新田次郎 監督 森谷司郎	
11/11 (日)	「雪国」	原作 川端康成 監督 豊田四郎	

(3) 文学創作教室

月日	事業名	演題	講師	備考
7/1 (日)	小説教室		講師 佐伯一麦	
2/2 2/8	短歌教室(一般対象) 短歌教室(高校生対象)		講師 三枝浩樹	

(4) 子どもワークショップ

月日	事業名	演題	講師	備考
8/3 (金)	消しゴムハンコで犬のポストカード		JP(郵便事業株式会社) の青少年ボランティアクラブ事務局より高橋裕子先生	
8/8 (水)	文学館で「日本語であそぼ!」 知らざあ言ってきかせやしよう! 歌舞伎体験ワークショップ		市川猿翁門下・おもだか 会 市川喜昇氏	
8/17 (金)	文学館で「日本語であそぼ!」 大人も楽しめる!体験!「狂言」講座		野村万作の会 高野和速氏	
12/9 (日)	文学館で「英語であそぼ!」 英語でクリスマス		国際交流協会 ステファノ・ヴィエロ氏	
1/5 (土)	文学館で「日本語であそぼ!」 新春 百人一首教室		竜王かるた会 清水 章子先生	

(5) 朗読公演会

月日	事業名	演題	講師	備考
6/9 (土)	お話の森朗読会①		溝口朗読サークル	
8/25 (土)	お話の森朗読会②		つるばみの会	
11/23 (日)	朗読公演会「樋口一葉 恋の箱歌」		センドー・オペラ・ミュージカル・カンパニー	

(6) 学習ガイド

県出身又はゆかりの文学者、作品についての学習資料集を作成し、小・中・高等学校、各市町村立図書館等に配付したり、文

学教室で活用する。楽しみながら展示を理解できるように、ガイドブックや展示クイズを作成し活用する。

(7) ジュニアインターンシップ（職場体験学習）

中・高校生の職業観・勤労観育成するとともに、将来、自らの進路を自分自身で選択できる能力育成のため、職場見学やジュニアインターンシップを積極的に受け入れる。

(8) 文学教室・解説

小・中・高校生向けには、国語科・総合的な学習の時間などの学習内容に合わせた解説。各種団体や一般向けには、時間設定や内容等の要望に応じて、文学教室や解説を行う。

(9) 講師派遣事業

小・中・高等学校や市町村、各種団体等の講師派遣要請に応える

4. やまなし文学賞

平成24年度は、第21回を募集する。

過去5年間教育普及事業 実施状況(H24. 1月末まで)

一般対象		H18	H19	H20	H21	H22	H23	小中高生対象		H18	H19	H20	H21	H22	H23
企画展関連 講演会・講座	回数	6	8	9	14	11	8	子ども映画鑑賞会	回数	2	2	2	2	2	3
	人数	1,192	828	1,534	2,197	1,076	1,445		人数	377	303	349	241	366	373
	平均人数	199	104	171	157	98	181		平均人数	189	152	175	121	183	125
企画展 ギャラリートーク	回数	48	30	47	53	49	31	子どもワークショップ (朗読教室・詩作教室・俳句教室・他)	回数	5	2	1	1	2	7
	人数	1,163	359	740	1,178	900	553		人数	78	44	35	30	110	528
	平均人数	25	12	16	23	19	18		平均人数	16	22	35	30	55	76
年間文学講座Ⅰ・Ⅱ 古典文学・近代文学	回数	16	16	16	16	16	16	お話の森朗読会	回数	4	3	3	3	3	2
	人数	1,285	1,311	1,252	1,332	1,441	1,802		人数	226	180	153	201	156	261
	平均人数	81	82	79	84	91	113		平均人数	57	60	51	67	52	131
年間文学講座Ⅲ (館職員による)	回数	8	6	6	6	3	3	小・中・高等学校・大学 展示観覧・解説	回数	38	31	31	44	68	66
	人数	481	302	312	375	158	169		人数	1,279	1,790	994	2,243	3,226	1,686
	平均人数	61	51	52	63	53	57	小・中・高等学校 講師派遣事業	回数	8	7	3	8	5	12
朗読鑑賞会	回数	3	2	1	1	1	1	人数	447	720	190	810	1,109	1,107	
	人数	647	592	230	500	225	400	小中高生・一般対象							
	平均人数	216	296	230	500	225	400	H18	H19	H20	H21	H22	H23		
映画鑑賞会	回数	6	6	6	5	6	8	創作プログラム (俳句短歌等教室・百人一首教室)	回数				3	4	2
	人数	1,405	1,338	1,390	1,203	1,941	3,178		人数				94	169	190
	平均人数	235	223	232	241	324	398		平均人数				32	43	95
文学散歩	回数	2	2	2	2	2	2	チャレンジ文学館 (夏休みチャレンジ文学館)	小中高					2,361	1,711
	人数	88	89	89	86	76	82		大人					60	23
	平均人数	44	45	45	43	38			合計	307	652	773	851	2,421	1,734
読書会	回数	10	10	10	10	10	9	学校対象							
	人数	114	120	113	103	119	99	H18	H19	H20	H21	H22	H23		
	平均人数	12	12	12	11	12	11	移動文学館 (パネル貸し出し)	回数						13
一般団体 展示解説 文学解説	回数	21	62	43	49	24	28		人数						7,124
	人数	526	5,329	895	723	389	767		平均人数						548
一般団体 山梨の文学 講師派遣事業	回数	13	10	16	17	20	18								
	人数	777	902	597	765	1,593	934								

過去5年間 教育課程による入館者数(県内)

		H18	H19	H20	H21	H22	平成23年度													
							合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
小学校	学校数	2	1	1	12	17	13				3	3			1	3		3		
	人数	78	55	53	503	730	549				163	49			48	152		137		
中学校	学校数	28	16	17	17	30	36	8	15	1	2	6		1	1			2		
	人数	561	324	327	418	1,217	623	32	311	120	9	138		5	4			4		
高校	学校数	8	8	6	8	10	28				6			10	12					
	人数	640	690	409	727	469	530				24			77	429					
大学 特別支援	学校数	4	0	3	7	6	6			3	3									
	人数	279	0	41	595	298	43			32	11									
合計	学校数	42	25	27	44	63	83	8	15	7	14	6	0	12	16	0	5	0	0	
	人数	1,558	1,069	830	2,243	2,714	1,745	32	311	315	93	138	0	130	585	0	141	0	0	

平成23年度閲覧室事業実施状況

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が直接手に取って利用できる資料を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
映画に魅せられた作家たち 春の企画展「文芸映画のたのしみ」に併せ、多くの映画に原作が取り上げられてきた、谷崎潤一郎・泉鏡花・川端康成・三島由紀夫らの著作や関連資料を紹介する。また、映画評論を執筆した作家の資料も併せて紹介する。	平成23年4月29日(金) ~ 6月19日(日)
文豪からのおくりもの一子どもたちへー 芥川龍之介らの文学者が、子どもたちのために著した作品を紹介する。併せて、『蜘蛛の糸』を始め、多くの名作が掲載された「赤い鳥」などの児童雑誌も紹介する。	平成23年7月8日(金) ~ 8月31日(水)
深沢七郎の世界 笛吹市石和町出身の作家・深沢七郎のデビューは42歳の時、「楢山節考」だった。以後「笛吹川」「甲州子守唄」「みちのくの人形たち」などの作品を世に送り出した。企画展に併せ、深沢七郎の作品や関連資料を紹介する。	平成23年9月10日(土) ~ 11月6日(日)
芥川賞・直木賞と山梨の作家たち 芥川賞と直木賞は昭和10年に制定、今日まで長い歴史を持つ文学賞である。山梨県出身作家では、芥川賞を小尾十三、直木賞を木々高太郎が初めて受賞した。山梨県出身・ゆかりの作家の、受賞作や候補作、関連資料を紹介する。	平成23年12月15日(木) ~ 平成24年4月15日(日)

◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展示名	展示期間
飯田蛇笏(4/26生)	平成23年4月22日(金)~5月13日(金)
山本周五郎(6/22生)	平成23年6月3日(金)~6月24日(金)
飯田龍太(7/10生)	平成23年7月6日(水)~7月27日(水)
辻邦生(9/24生)	平成23年9月7日(水)~9月28日(水)
山崎方代(11/1生)	平成23年10月28日(金)~11月16日(水)
中村星湖(2/11生)	平成24年1月25日(水)~2月15日(水)
芥川龍之介(3/1生)	平成24年2月23日(木)~3月15日(水)

◇県立美術館特別展開連資料紹介

県立美術館特別展開催に併せ、関連資料を紹介する。美術館から文学館への誘客を図り、展示内容への理解・関心をさらに深める機会とする。

展示名	展示期間
川端康成の世界	平成23年9月16日(金)~11月6日(日)
浅川伯教・巧兄弟	平成23年11月18日(金)~12月25日(日)

◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。

第1回 平成23年 6月18日(土)実施 参加者 35名
 第2回 同 11月20日(日)・県民の日 参加者 72名
 午前・午後各1回

内容：書庫見学、画像情報システム端末・文学館検索システム端末操作説明、当館作成のビデオのビデオブースで視聴

◇岩森亀一氏旧蔵芥川コレクション(図書資料)の公開

開館前後から受入れ、当館の芥川コレクションの中核をなすもので、閲覧照会も多かった。芥川龍之介の旧蔵資料、著作、関連資料等の確認作業、整理作業を行い、閲覧方法を検討し、平成24年1月から閲覧を開始した。芥川旧蔵資料はその貴重性を考慮し、自筆資料に準じて、事前申請による閲覧とした。

◇書庫再編(平成22年度から継続)

書庫2Fの逐次刊行物(雑誌・新聞等)の書架の移動、整理作業を行った。書架に若干の余裕が生まれ、排列の正常化が図れ、当面、資料の増加が可能な状態となった。

平成24年度閲覧室事業計画(案)

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が直接手に取って利用できる資料を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
石川啄木の世界 石川啄木(1886-1912)は岩手県に生まれ、26歳2ヶ月で短い生涯を閉じ、今年が歿後100年にあたる。『一握の砂』『悲しき玩具』などの詩情あふれる作品は今も親しまれている。春の企画展にあわせて、啄木の作品や関連資料を紹介する。	平成24年4月27日(金) ~ 6月24日(日)
みんなで読もう世界の名作 「赤毛のアン」や「小公子」「小公女」、アンデルセンの童話など、よく知られている世界の名作は、童話や絵本となって今も読み継がれている。特設展にあわせ、子ども向けの世界の名作とその関連資料を紹介する。	平成24年7月21日(土) ~ 8月26日(日)
飯田蛇笏一歿後50年ー 俳句雑誌「雲母」を主宰し、大正・昭和期に活躍した俳人・飯田蛇笏。現在の笛吹市境川町に生まれ、居所を「山廬」と呼び、生涯のほとんどをこの地で過ごした。特設展にあわせ、飯田蛇笏の作品や関連資料を紹介する。	平成24年9月29日(土) ~ 11月25日(日)
やまなし文学散歩 山梨に生まれ育ち、あるいは山梨の地に親しんだ文学者たちは、山梨を舞台とした文学作品をさまざまに生み出している。平成25年、国民文化祭が山梨県で開催されることにちなみ、山梨の文学に関わる作品や関連資料を紹介する。	平成25年1月14日(月) ~ 4月14日(日)

◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展 示 名	展 示 期 間
木々高太郎(5/6生)	平成24年4月20日(金)~5月11日(金)
太宰治(6/19生)	平成24年6月6日(水)~6月27日(水)
飯田龍太(7/10生)	平成24年7月4日(水)~7月25日(水)
辻邦生(9/24生)	平成24年9月12日(水)~10月3日(水)
山崎方代(11/1生)	平成24年10月24日(水)~11月14日(水)
檀一雄(2/3生)	平成25年1月23日(水)~2月13日(水)
芥川龍之介(3/1生)	平成25年2月20日(水)~3月13日(水)

◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。

第1回 平成24年 6月16日(土)

第2回 同 11月20日(火) 県民の日

午前・午後各1回

内容：書庫見学、画像情報システム端末・文学館検索システム端末操作説明、
当館作成のビデオのビデオブースで視聴

【閲覧室利用統計】

閲覧室利用状況(内訳)

(H24.1.31現在)

	閉館日数	入室者	閲覧カード発行数	閲覧者数	閲覧冊数	調査相談	電子式複写枚数	マイクロ複写枚数	画像検索回数	資料紹介回数	HPアクセス件数
平成21年度	307	7,740	109	407	2,021	488	4,623	105	600	400	35,108
平成22年度	309	8,687	97	480	2,685	487	3,708	187	817	401	32,374
平成23年度	257	6,585	82	351	2,079	311	6,181	244	705	636	28,871

調査相談(口頭・電話・手紙・FAX・メール)(月別)

単位:件 (H24.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均件数
平成21年度	47	41	45	47	43	42	47	45	24	25	42	40	488	2
平成22年度	97	56	39	41	47	29	42	32	24	24	30	26	487	2
平成23年度	37	38	26	27	37	28	40	45	21	12			311	1

閲覧室入室者(月別)

単位:人 (H24.1.31現在)

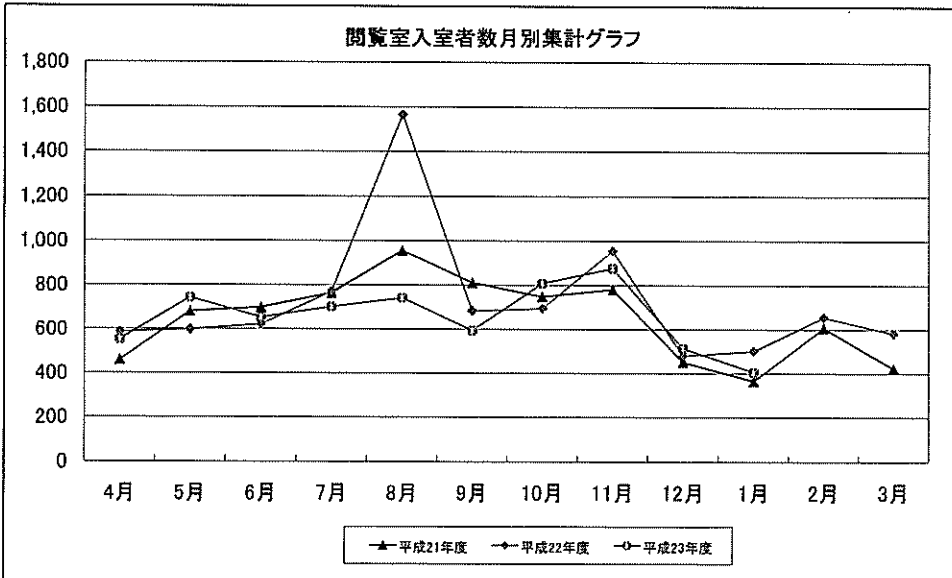
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均入室者数
平成21年度	459	680	698	765	955	811	748	781	451	363	607	422	7,740	25
平成22年度	586	597	620	771	1,565	683	694	955	479	501	655	581	8,687	28
平成23年度	552	743	652	701	742	593	808	876	514	404			6,585	26

複写枚数(電子式・マイクロ)(月別)

単位:枚 (H24.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均枚数
平成21年度	444	283	640	523	613	248	902	330	289	76	225	155	4,728	15
平成22年度	398	316	324	315	140	134	513	564	251	235	595	110	3,895	13
平成23年度	353	1,015	742	181	747	462	523	989	1,244	169			6,425	25

閲覧室入室者数月別集計グラフ



ホームページアクセス件数(月別)

単位:件 (H24.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均アクセス件数
平成21年度	2,783	4,094	3,967	2,949	2,724	2,677	2,806	3,015	2,019	2,337	2,759	2,978	35,108	96
平成22年度	2,551	2,650	2,669	2,684	2,678	2,469	3,359	3,632	2,167	2,613	3,110	2,392	32,374	89
平成23年度	2,736	2,929	2,787	3,038	3,399	3,056	3,445	3,001	1,986	2,484			28,871	94

指定管理者平成23年度活動トピックス

【1】展示広報①

両館常設展チラシのリニューアル



●視覚で施設の特徴を紹介できるツールとしてリニューアル
●県内観光施設及び首都圏博物館施設を中心に配布

【1】展示広報②

文学館企画展「文芸映画の楽しみ」展

会期 4/29(土)~6/19(日)

- ①期間中に310本のCM上映
- ②駅前飲食店街「ちょうちん横丁」、サントリー関東支店との協同PR
- ③新規チラシ設置先の開拓
病院・農協等



⇒前年企画展は上回り、観覧者実績は4,042名

⇒関連事業「名画鑑賞会」の盛況

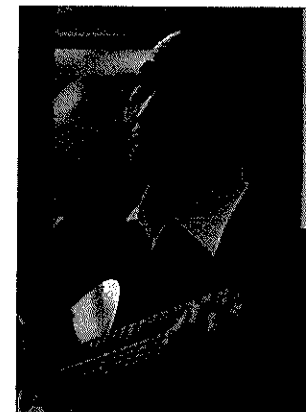
会期中に4本の映画を上映、定員500名に対して、700名以上が来館され入場できないケースも発生

【1】展示広報③

文学館企画展「深沢七郎」展

会期 9/10(土)~11/6(日)

- ①山梨日日新聞社、有料広告「どれみるっく」計7回掲載
- ②ヴァンフォーレ甲府のオーロラビジョンに広告掲載
- ③会期中中で発見された「楢山節考」の新原稿が全国紙で掲載
⇒目標4,500名に対し、観覧者実績は4,329名
⇒最後の1週間で1,500名の観覧者を記録



【2】イベント①

ゴールデンウィークは芸術の森公園へ行こう！



ゴールデンウィークは 芸術の森公園へ行こう！
～みつけよう、新しい感性を～
山梨県立芸術・文学館・森林の森公園では4月29日(土)～5月9日(日)の土日・祝日に「ゴールデンウィークは 芸術の森公園へ行こう！～みつけよう、新しい感性を～」と題して、期間中の展覧会に加え、ミニコンサートや親子で楽しむワークショップ、至急など多数のイベントを開催します。万葉を使って春の芸術の森公園を十分に楽しみましょう。

【大勢で楽しむイベント】
文庫日：4月29日(土)・30日(日)
料：1000円(税別) ※お楽しみグッズも販売予定です
場所：森公園 4号館の展示室
定員：先着100名
申込：無料

【ミニコンサート】
文庫日：4月29日(土)、30日(日)・3日(水)・4日(木)
5日(金)・6日(土) 共6回
時間：13:00～14:00 演奏時間 約30分
※5月3日(水)のみ2部制
申込：無料 17歳以上

【ワークショップ「おひなまつり/ワグをつくらう！」】
実施日：5月1日(日)、3日(水)～6日(土) 共4回
時間：9:30～12:00
場所：森公園展示室
定員：全日各回200名程度
費用：1回 50円
※費用は二歳未満は無料の年齢をたてずに入場を要します。

【芸術の森公園 アートツアー】 ※各館内の展示もスタッフにご紹介します。
実施日：5月10日(日)、3日(水)～6日(土) 共4回 日替り
料：1000円 / 12:30～ 開催時間 約40分
定員：各回先着30名程度
申込：無料
※5月4日(日)以降の土日は雨天決行です。

リリース配信
山日新聞終面カラー広告

【2】 イベント②

芸術の森公園アートツアー



参加者実績

21年度	155名
22年度	741名
23年度	876名

- 雨天中止になった会もあったが、最終的に目標の800名を達成
- ご要望に応じ団体予約への対応が可能な体制を構築し、更なる集客を目指す

【2】 イベント④

「落語ぶんがく亭」開催予定



公演日：平成24年3月30日（金）

- ・指定管理初の試みとなる有料催事
- ・収入は広報費として活用予定



※共催を組むテレビ山梨でのCM放映も

【2】 イベント③

呈茶(年間14回)

寄席(年間2回 紅葉・新春)



協力：山梨茶道連合会・素心会



協力：山梨落語研究会

参加者実績

21年度	1,703名
22年度	1,846名
23年度(見込み)	1,815名

参加者実績

23年度	目標人数	160名
	参加人数	152名

【3】 平成24年度の取り組み



●展示広報

- ・常設展の広報強化
- 「インパクトのあるフレーズ」
- ・関係者全員が広報担当者

●イベント

- ・「落語ぶんがく亭」シリーズ
- 年間計3～4回実施予定
- ・新イベントの企画(野点等)

